

第862号
 2020.1.21(火)

福島の「新春のつとい」が紹介されました

各地で同胞たちの新春の集いが催されている。メイン企画の講演会では昨年末、朝鮮労働党中央委員会総会で示された「正面突破」の路線や今年の朝鮮半島情勢が話題に取り上げられている。

福島県で行われた新春の集いに講師として参加した。講演会後の祝賀宴では同胞たちの近況、組織や学校の現状が話題となる。商工人たちは景気動向への不安と経営環境の厳しさについて述べながらも、ウリハッキョの運営を気にかけていた。父母たちは生徒数の減少に歯止めをかけることの重要性和、喫緊の課題である幼保無償化における差別撤廃について語っていた。

取り組むべき難題があっても同胞たちは笑顔を絶やさない。その祝賀宴では女性歌手が「세상에 부림없어라」など往年の名曲を熱唱した。すると幼稚園に通う年頃の女の子がメロディーに惹きつけられるように舞台上上がった。見よう見まねで「一流歌手」のように立ち振る舞い、大人たちの拍手喝さいをあびた。「今日彼女が感じた同胞社会の温もりをずっと忘れないでほしい」そんな感想が聞かれた。

同胞が集えば新たなパワーが生まれる。絆の大切さを確認し、結束を強める。「情勢が好転するのを待つのではなく、私たちも正面突破で難局を切り開いていこう」、講演の後の宴で参加者たちは、どんな逆行にもめげずに、今年も同胞社会のために互いに頑張ろうと笑顔で誓い合っていた。(朝鮮新報 1月22日号掲載)

「朝鮮商工新聞」1月21日号にも「新春のつとい」に関する記事が写真とともに掲載されています。

訂正 コッソニイ入賞者

先週コッソニイ作文コンクールにウリ福島ハッキョの学生が全員入賞のおしらせをしましたが、中級部1年生の鄭ユファントムが詩部門で2等に入賞したことをお伝えできませんでした。ユファントムは詩部門と作文部門のダブル入賞でした。改めて下記に入賞者をお知らせします。

詩	1等	鄭チファン	中3
	2等	金チャンウ	初6
	2等	鄭ユファン	中1
作文	奨励賞	金チャンス	初5
	奨励賞	鄭ユファン	中1

ニョメン中通文化教室「ハーバリウム」

ハーバリウムとはガラスの小瓶に花をオイル漬けしたもので手入れせずとも花の美しい姿を保ち続けるというものです。ぜひご参加下さい。

日時 1月25日(土) 午後1時～3時ごろ

場所 本部会館3階

参加費 1,000円～

(ボトルの大きさによって変わります)

*参加希望の方は身近なニョメン役員にお知らせください。

今週の放射線量 (ハッキョ自動測定器)

13日(月)	0.081	17日(金)	0.080
14日(火)	0.094	18日(土)	0.102
15日(水)	0.094	19日(日)	0.080
16日(木)	0.092		

22	23	24	25	26	27	28
水	木	金	土	日	月	火
			旧正月 児童教室(会津・中通) ニョメン中通文化教室			